

# 出張報告

報告日

令和8年3月13日

会 派 名	日本共産党柏崎市議員団
報告者氏名	持田 繁義
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	2026年3・1ビキニデー日本原水協全国集会参加
日 時	令和8年2月28日（土） ～ 令和8年3月1日（日）
場 所 (会 場)	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ（静岡市）他
調査項目等	
概 要	<p>2026年3・1ビキニデー日本原水協全国集会参加概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2月28日（土） <ul style="list-style-type: none"> <li>・13時、全体会参加。1200名が参加。日本原水協事務局長の■■■■氏より基調報告「核兵器のない平和な世界、憲法生かした非核平和の日本へー 草の根から行動ひろげ2026年世界大会の成功を」、原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会共同代表の■■■■氏より非核平和の日本を実現にむけた主催者報告がされた。あわせて、99ヶ国が核兵器禁止条約に署名したことが報告された。</li> <li>・15時30分、7つの分科会のうち、「原発推進ノー・原発ゼロ社会」に参加。</li> </ul> </li> <li>●3月1日（日） <ul style="list-style-type: none"> <li>・9時、焼津駅前よりビキニ被爆者久保山愛吉さんの菩提寺まで墓参行進。</li> <li>・13時、被災72年・2026年3・1ビキニデー集会参加。「ビキニ水爆実験被災72年、被害の実相解と被害者全員の救済を」等5つのテーマでの発言と報告。最後に集会アピールの提案と採択がされた。</li> </ul> </li> </ul>



所 感 等	<p>東京電力・福島第一原発事故から15年。いまだ5万人の人たちが住み慣れた故郷に帰れない。中部電力浜岡原発の耐震偽装発覚で原発の安全が確保できるかなどの報告から学ぶことが多い。今の浪江町は、崩れた家屋や緑の田んぼが原生林に変貌。双葉町、南相馬、浪江町は90%が除染されず今後の予定もないこと。原発事故から15年の冷厳たる現実、未来を完全に奪っていること。浜岡原発3・4号機のデータ捏造では、原発を襲う地震を過少に報告し、安全対策工事の予算と工事の削減を狙う不正が垣間見える。</p> <p>2025年12月データ作成の委託を受けた事業者の「内部報告書」で「中部電力の指示でデータを操作した」との文言から、原子力規制庁に追及され中部電力が不正を認めたもので、①福島原発事故を経ても住民の安全より自社の利益を優先、②電力会社が提出する書類の不正を見抜けない規制庁・規制委員会、③原子力規制委員会の審査を合格すれば安全とする政府や政治の在り方への問題が投げかけられている。</p> <p>1954年3月1日、アメリカが太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁で行った水爆実験により、多くの日本漁船やマーシャル島民が被災し、深刻な放射能汚染を引き起こした。「第五福竜丸」の母港・焼津に集まり、核兵器廃絶への決意と被災の全容解明、核兵器廃絶を求めてきたすべての被害者のご家族との連帯を強めることを新たにした。</p> <p>2024年12月10日、核兵器の非人道性を訴え続けてきた日本被団協のノーベル平和賞の受賞は、人類が「核破局」の危険な瀬戸際にいることに鋭く警鐘を鳴らすとともに、核兵器廃絶を求める世界の運動を励ますものである。日本はアメリカの核戦略への依存をやめ、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に署名・批准すべきである。被災から72年、3・1ビキニデーを出発点に、草の根の行動の進展が望まれる。平和首長会議に参加する、柏崎市の取り組みをいっそう強める必要があることを痛感した。</p>
-------	--